

東北大学キャンパスの空間線量率

石井慶造¹⁾、長久保和義¹⁾、寺川貴樹¹⁾、松山成男¹⁾、山崎浩道²⁾、菊池洋平¹⁾

東北大学大学院工学研究科¹⁾、東北大学サイクロトロン・RIセンター²⁾

1. 目的

震災後、約1年経った現在（2月下旬から3月上旬）の東北大学キャンパスの空間線量率の状況を調べた。

2. 方法

仙台市内の東北大学キャンパスをNaIシンチレーション検出器で測定した。

3. 結果（平成24年3月21日発表）

図1に測定結果を示す。空間線量率（1m）はほとんどの場所で毎時0.1マイクロシーベルトを切っている。

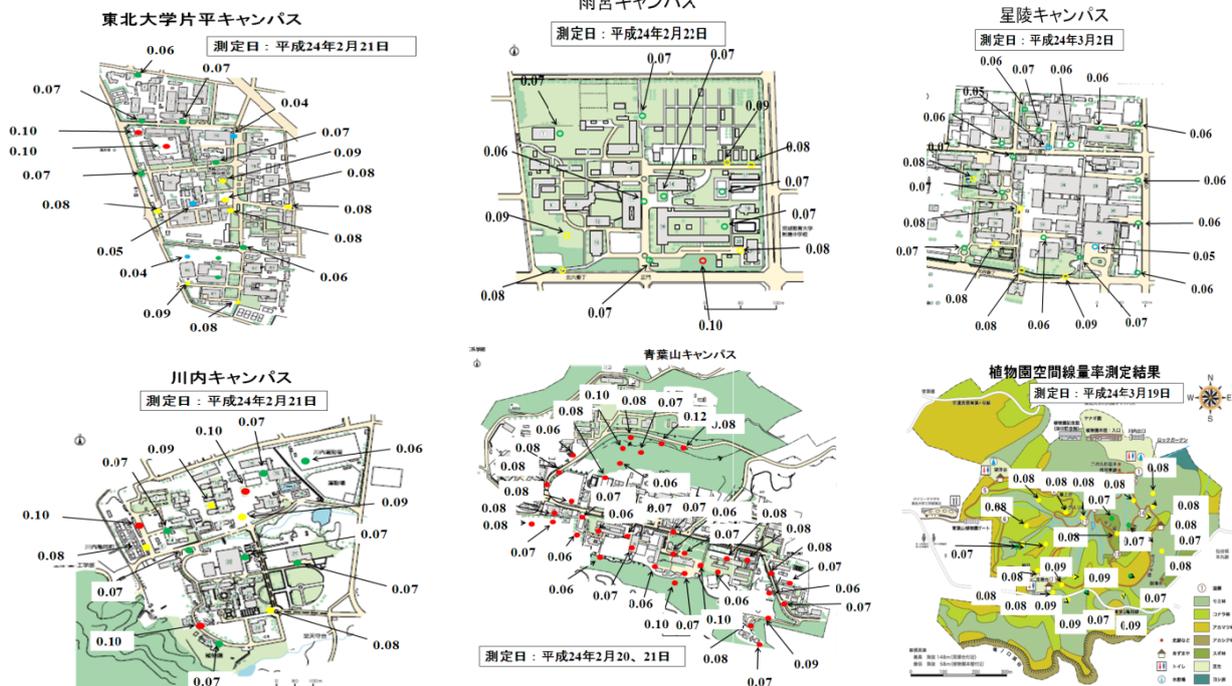


図1 仙台市内の東北大キャンパスと空間線量率

作成者：石井慶造